

九条だより

第143号

北広島九条の会 2019. 11. 01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ <http://kitahiro9.org/>

11月例会のご案内

11月16日(土)午後2時～ 団地住民センター

お話 弁護士 ^{たかさき}高崎 ^{とおる}暢 さん

「嫌韓」あおる安倍政権、隣人としての友好と連帯にこそ未来がある

資料代 200円 (高校生以下無料)

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

北広島9条の会第13回総会 80名の市民が参加

上田文雄氏が「安倍改憲の新たな局面」を訴え

10月14日(祝・月)午後2時より芸文ホール活動室で第13回総会を開きました。

オープニングでは、札幌市清田区にある朝鮮学校の生徒さん3人による民族伝統舞踊が披露されました。3人の高校生の演技は、色彩豊かな民族衣装に身を包み、笑顔を絶やさず、しなやかで華麗な舞踊と太鼓の演奏を交えて見事でした。

元札幌市長・上田文雄さんによる記念講演は「今、憲法を考える一憲法に自衛隊が明記されたら何が起ころか」という演題で行われました。

今年7月の参議院選挙の結果、参議院における改憲勢力は、発議要件である三分の二は下回ったものの依然として多数派であり、選挙公約に「憲法改正をめざす」と掲げていた自民党は強気の姿勢です。従来の自民党改憲草案に比べ、9条2項を残したまま3項に“自衛隊”の存在を書き込むだけという安倍改憲案は危険性が少ないのか?“自衛隊違憲論に終止符をうつ”を加憲理由に、“頑張っている自衛隊員に気の毒”と感情に訴える戦略の安倍自民党ですが、その裏に隠された危険性を教えていただきました。

2項の条文は残しても、実際は、“戦力不保持・交戦権否認”をうたう2項と自衛隊との整合性は疑問で、結局は「後法優位の原則」により2項は空文化することになります。2015年に強行採決され、その違憲性も疑われる安保法制下の自衛隊は、役割も拡大され兵站などの極めて危険な活動に身をさらすことになります。専守防衛を越えた攻撃型の兵器が次々装備され、軍事予算は倍増して財政を圧迫し福祉予算を削ります。改憲後は、現行憲法との不整合を理由に連鎖反動的にさらなる改憲、加憲が進められていくに違いありません。

さて、このような改憲(=壊憲)勢力にどう対抗していくのか。上田さんはこれまでも、「不許壊憲」を掲げてのデモやパレード、野党共闘や統一候補の擁立に奮闘し、実績をつくっておられます。その上田さんから私たちにむけて提案がありました。

今の政府は、敗戦時連合軍から「押しつけられた平和主義」にしぶしぶ従った権力者たちの末裔であり、「戦後レジームからの脱却」「美しい日本を取り戻す」などの言葉で平和・人権・民主主義の破壊をもくろんでいます。横暴な国会運営、権力の私物化や権力犯罪の隠ぺい工作を許してはなりません。

私たちは、自由を獲得してきた苦難の人類史に学び、マレーシアのマハティール首相に「世界のすべての憲法に9条があるべきだ」と言わしめる日本国憲法の9条、そして、前文にあらわされた本当の意味での積極的平和主義の理念を実現化すべく、具体的行動をとりましよう。世界から信頼と尊敬を得ることが、日米同盟による抑止論より有効です。平和を守るためにできることは何かを考え、政府に働きかける国民運動が今求められています。

10月10日、九条の会（中央）が異例の声明 「改憲発議強行を草の根からの運動で阻もう」

安倍首相は、先の参院選において市民と野党共闘の頑張りで改憲勢力3分の2の議席の維持に失敗したにもかかわらず、内閣改造と党役員人事で任期中の改憲発議強行に本腰を入れる体制をつくり、臨時国会に臨んできました。

安倍自民党がねらうのは、改憲発議の第一歩として憲法審査会において何が何でも自民党改憲案を提示し、その審議に入ることです。そのため、自民党は、改憲手続法改正審議と並行して改憲案の提示を行おうとするなど、なりふり構わぬ形で議論に入ろうとしています。臨時国会で改憲案を提示して来年通常国会で発議強行、というスケジュールを描いているからです。

臨時国会での所信表明演説においても、安倍首相は、改憲審議入りで演説を締めくくりました。「令和の時代に、日本がどのような国を目指すのか。その理想を議論すべき場こそ、憲法審査会ではないでしょうか。私たち国会議員が・・・しっかりと議論していく。皆さん、国民への責任を果たそうではありませんか」と。

それに呼応するように、衆議院議長が今国会での改憲手続法の改正を促す発言をしたことは、その職責を逸脱した言語道断の暴挙といわねばなりません。

さらに、安倍自民党は、改憲問題がすすまない背景にある「安倍改憲反対」の国民世論を意識し、国会審議と並行して、草の根からの改憲世論づくりに本腰を入れようとしています。日本会議と連携し自民党全支部での改憲推進本部づくりをはじめ、改憲国民投票を見据えて策動を強めています。

韓国との対立を煽る一方で、朝鮮・中国の脅威を口実にして自衛隊の海外での武力行使を目指す9条改憲に執心する安倍政権の態度は、朝鮮半島の非核化、東北アジアの平和構築の方向に真っ向から逆行する極めて危険な策動です。安倍改憲を阻むことは、アジアと世界の人々に対する日本国民の責務となっています。

改憲の新たな局面を迎えたいま、まず必要なことは、こうした安倍改憲の狙いと危険性を市民が共有することです。「安倍政権下の改憲」には反対の声は多数ですが、自衛隊を憲法に明記する9条改憲の危険性は、まだまだ市民の中には浸透していません。また、改憲手続法は、いま問題となっている有料CMが「カネで改憲を買う」危険をもっているだけに留まらず、公務員・教育者の地位利用の国民投票運動の禁止や「組織的多数人買収・利害誘導罪」など市民の自発的な運動を規制する致命的欠陥をもっていることも見逃せません。草の根からの学習、討論運動を巻き起こしましょう。

先の参院選で3分の2を割らせた、3000万署名をはじめとする市民の運動に確信を持ち、改めて、署名、集会、スタンディング、ネットでの配信、など草の根からの運動をさらに幅広く大きなものにしましょう。草の根からの市民の声で安倍改憲を包囲し、阻止しましょう。

◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇ ◇◇◇◇◇

◎お知らせ 市民の戦争体験を伝える

「バトンタッチ」第8集が刊行されました。玉稿をお寄せいただいた市民の方は13名、特別企画として「旧陸軍通信所シンポジウム」の記録が掲載されています。頒価300円。ぜひご覧ください。

◎ホームページへの投稿を呼びかけています。「憲法と私」のコーナー。

形式は問いません。イニシャル掲載。

◎募金のお願い。会員制をとっていません。皆さんの浄財が頼りです。是非ご協力を。

郵便振込み口座・北広島九条の会

02790-9-65384

平頂山小さきを庇う骸あり 月子
緑陰に読みかけの本かんばせに 彦七
草履脱ぎ我が家の一服萩覗く 草子
草の花飾詞に妻のおどけ来る 泉
岩の上雀水浴びそつと見る 多加正
岩肌の山の連らなり葦の原 容子
野菊咲く亡き姉の手と幼き日 久枝
平和五七五（灯火会）の句会から